

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ①3、4年生のゼミナール活動に関して、2014年7月2日に地域政策学部増田正ゼミナールとのインゼミを行った(2008年度より継続)。 ②3、4年生のゼミナール活動に関して、2014年10月20日及び10月27日に地域政策学部味水佑毅ゼミナールとのインゼミを行った。10月27日は高大連携事業の一環として、高崎経済大学附属高校の1年生約280名のゼミ見学を受け入れた(2008年度より継続)。 ③3、4年生のゼミナール活動に関して、2014年12月12日～14日にインカレ合同ゼミ合宿(富山大学経済学部青木ゼミナール、茨城大学人文学部井上ゼミナール、高崎経済大学地域政策学部佐藤ゼミナール)を行った(2008年度より継続)。本年度は東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、4年生の卒論研究報告会、3年生の共同研究報告会を行った。 ④2014年9月7～9日(夏合宿)と12月12日～14日(インカレ合同ゼミ合宿)にゼミ合宿を行い、4年生の卒論研究報告会、3年生の共同研究報告会、3、4年生対抗ディベート等を行った。 ⑤2015年度に演習Ⅰを履修する予定のゼミナール所属予定2年生に対するプレゼミを行った。2014年6月から11月の研究成果を問うために、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」へ2チーム(「チームすずらん」、「高チャリ150cc」)が参加した。「高チャリ150cc」は第一位を獲得した。(2011年度より継続)。 ⑥高大連携事業に関して、味水佑毅ゼミナールとのディベートなど中心とした高崎経済大学附属高校の教育事業へ貢献した(2008年度より継続)。 (2) 研究活動 ①佐藤公俊「グローバル化と日本経済」河野康子監修・阿部顕三・笠原英彦編著『グローバル化と日本の政治・経済—TPP交渉と日米同盟のゆくえ—』芦書房、2014年、87-104頁。 ②佐藤公俊「ゴミ缶モデル」「アリソンのモデル」「プリンシパルエージェント理論」堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識(改訂版)』一藝社、2014年、272-4頁。 ③日本地域政策学会理事・事務局長として、学会の企画・運営等を味水佑毅理事・事務局次長と協同で管理した。7月に金沢星陵大学で開催された第13回全国研究【石川】大会・総会、2014年度に5回にわたり開催された理事会の企画・運営責任者として業務を遂行した。また、2015年7月に明治大学で開催予定の第14回全国研究【神奈川】大会の企画・運営業務を行った。 ④日本地域政策学会理事・広報委員会副委員長として学会運営に関った(2014年7月～現在)。 ⑤地域活性学会監事・広報委員として学会運営に関わった(2013年7月～現在)。 ⑥6月に本学で開催された日本公共政策学会全国大会運営委員として活動した。 ⑦大学の戦略的研究の一つと位置付けられる「公立大学の研究」を行った。北九州市立大学へのヒアリングなどを行った。 (3) 学内行政 ①地域政策学科長として、専門導入B「地域政策を学ぶ」の運営などを中心とした学科に関わる業務について主宰・統括の責を負った。 ②地域政策学部教務委員長として学部の教務について管理運営を行った。	

③地域政策学部入試運営副委員長として入学試験に関する事項について業務を遂行し、入試運営委員長（地域政策学部長）を補佐した。また、入試検討委員会委員として地域政策学部長を補佐した。

④地域政策学部実習運営委員会委員・教職課程運営委員会委員・調査書審査企画委員会委員長・入試検討委員会委員、地域政策学部自己点検評価委員会委員、大学院地域政策研究科自己点検評価委員会委員、基礎教育の在り方に関する検討委員会委員として学内業務に携わった。

⑤群馬県立中央中等教育学校で行われた「平成 26 年度群馬県大学の先生を中心とする大学の先生による模擬授業」の講師として、5 年生に対して講義を行った（11 月 13 日）。

（４）社会貢献

①高崎市職員研修（平成 26 年度専門研修）講師として、政策ディベートに関する職員研修を行った（6 月 26 日）。

②川口市行政評価外部評価委員会委員（副委員長・第二部会長）として委員会および部会の会議を主宰した。また、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言等を行った（2010 年度より継続）。

③群馬県立文書館運営協議会委員として活動した（2011 年度より継続）。

④安中市行政改革審議会委員として活動した。また同委員会の活動の一環として、行政評価二次評価のコーディネータを務めた（2012 年度より継続、二次評価は 2014 年 12 月 18 日）。

⑤渋川市行政評価専門部会・事務事業評価〈二次評価〉コーディネータをつとめた（8 月 18 日、19 日、2012 年度より継続）。

⑥渋川市行政評価職員研修会講師として行政評価に関する職員研修を行った（11 月 20 日）。

⑦ラジオ高崎「ラジオゼミナール」において講義を行った。テーマは、「あなたは何を考えて仕事をしていますか」（5 月 24 日）、「政策と心理」（5 月 31 日）である。

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

（１）教育活動

2014 年度の内容を見直し、より充実した活動を行う。

（２）研究活動

2014 年度から取り組んでいる「行財政改革の分析」に関して、今年度は特に理論分析の研究を重点的に進めたい。学会等における活動は本年度も継続して行いたい。